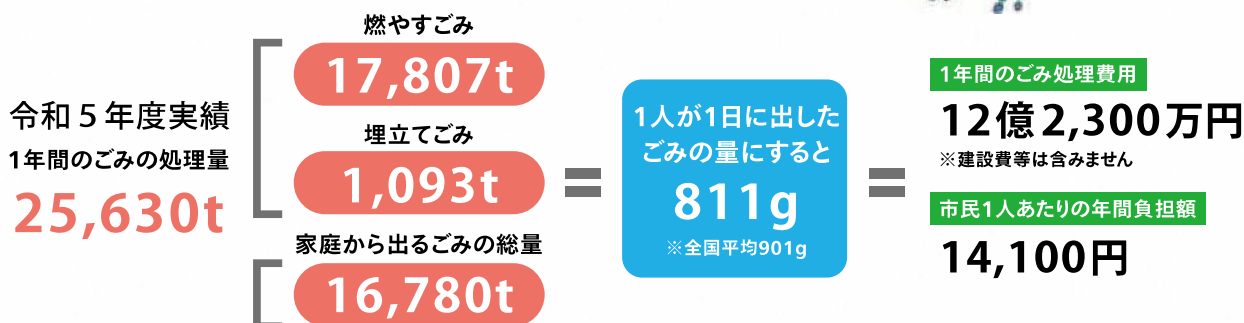


亀岡市のごみの処理量と処理経費



ごみ処理施設の現状と目指すべき姿



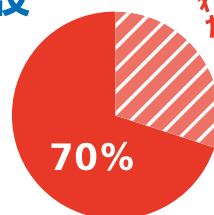
このままでは、将来世代の大きな負担に!?

迫りくる焼却施設の更新時期

平成9年3月に竣工した桜塚クリーンセンターは老朽化がすすみ、更新の時期が近づいています。

ひっ迫する埋立施設

70%以上埋立済み
エコトピア亀岡の残余容量は残りわずか。本当に「埋立てるしかないごみ」ばかりでしょうか？



将来世代に負担をかけないために!!

資源化(リサイクル)のさらなる促進

分別区分の拡大と市民の皆様の協力度アップで、より高い資源化率を目指します。

紙類

草・木類

小型金属類

プラスチック製品

令和5年4月から
分別区分の拡大

焼却処理だけに 頼らない処理

ごみの減量により地球に優しいクリーンな処理が可能に。

- 脱炭素
- たい肥化
- 適切な規模の処理施設

新たな埋立処分場は 作らない

減量と資源化により、埋立て量は大幅に減少します。

